

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
相談援助演習Ⅱ Seminar of Social Work II		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(社会福祉士国家試験受験資格取得 必修)	相談援助演習Ⅰ単位取得者
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
社会福祉士国家資格指定科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
社会福祉士受験資格指定科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
中島 佳子	栄養棟3階	月曜～木曜の授業以外の時間		授業中に指示します
<b>授業の概要</b>				
社会福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について、実践的に習得するとともに専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。				
<b>授業の目標</b>				
①ソーシャルワークの価値に基づいて、実践で何を指すべきかを述べるようにする。 ②ソーシャルワークの基本的な視点と知識に基づいてクライアントの状況を多面的に理解し、他者がわかるように説明できるようにする。 ③ミクロ・メゾ・マクロのそれぞれのレベルでの介入について理解しており、基本的な介入スキルを身につけることができるようにする。 ④ソーシャルワーク実践の評価について理解し、実践についての自己評価ができ、それを実践の改善に役立てることができるようにする。				
<b>授業の方法</b>				
演習を中心に授業を展開するが、必要に応じて講義を行う。 演習後には小レポートを作成し、ディスカッション等で振り返りを行う。				
<b>学習の成果（学習成果）</b>				
①社会福祉士で科目別に学習する事柄の関連性に気付き、総合的・包括的に捉えることができる。 ②自分や社会への理解を深め、実践に応用するスキルを身につけることができる。				
<b>授業のスケジュールと内容</b>				
第1回目	ガイダンス・相談援助の方法			
第2回目	相談援助の過程① インテーク・アセスメント			
第3回目	相談援助の過程② アセスメント・プランニング			
第4回目	相談援助の過程③ プランニング・支援の実施			
第5回目	相談援助の過程④ モニタリング・効果測定			
第6回目	相談援助の過程⑤ 終結とアフターケア			

第7回目	総合的かつ包括的な援助①	
第8回目	総合的かつ包括的な援助②	
第9回目	総合的かつ包括的な援助③	
第10回目	総合的かつ包括的な援助⑤	
第11回目	地域福祉の基盤整備と開発① アウトリーチとニーズ把握	
第12回目	地域福祉の基盤整備と開発② 地域福祉の計画	
第13回目	地域福祉の基盤整備と開発③ 社会資源の活用・調整・開発	
第14回目	地域福祉の基盤整備と開発④ ネットワーキング	
第15回目	まとめ	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	40%	以下の点で評価します。授業の準備を整え、遅刻せずに出席していること。演習への積極的な参加。演習の目的を理解できていること。
レポート	50%	授業・演習テーマ、意図に即した内容であり、自分自身の振り返りがなされていること。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）	10%	個人やグループでの発表が適切に行われているかどうか。
その他		
教科書と参考図書		
参考資料：「相談援助演習」社団法人日本社会福祉士養成校協会 監修／中央法規 授業初回に指示します。		
履修上の留意点・ルール		
私語、携帯電話の使用を禁止します。授業に関係のないもの（携帯電話、食べ物、飲み物、化粧品、手帳）はかばんにしまうこと。		